

岐阜県議会議員 平野 祐也 タイムズ

VOL.19

平野祐也のプロフィール



1984(S59)年12月生まれ
 緑苑小▷緑陽中▷岐阜北高
 ▷名古屋大学法学部卒
 ▷三菱商事(東京・米国)11年勤務
 ▷2019年岐阜県議会議員(1期目)

2019年春、10才から夢みた政治家となり、明るい未来を創るためのスタートラインに立つ。サラリーマン家庭の男3人兄弟、次男。中学・高校時代はバスケットに熱中。大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。現在は妻、子供2人と鶯沼山崎町在住。

発行日
2022年 盛夏号

平野祐也 最近の活動は
 で検索!



各務原から
 創ろう。岐
 阜の未来を。

公式LINE

一般質問



平野祐也が提言した内容をご紹介します。

① 岐阜県国民保護計画における地下避難所の確保及び国民保護訓練の実施について

関係機関が幅広く参加する国民保護訓練を実施する。

② 岐阜県への高度物流拠点の誘致について

誘致について
 趣旨 コロナ禍でネット通販が増加して、宅配便数が過去最多となった。現在日本中で物流倉庫の投資ラッシュが続いている。岐阜県は日本のど真ん中であり、地盤も強固なので、今後東海環状道の開通も見据えて戦略的な物流拠点の誘致をすべきたと提言しました。



※国土交通省HPより抜粋(マルチテナント型物流不動産)

③ 消防団の岐阜県消防操法大会の今後のあり方について

趣旨 消防団員は全国的に減少要因の一つが「操法大会」の負担が重いこと。昨今全国的に操法大会の廃止がニュースとなり、県内でも5市町で廃止となった。こうした現状を踏まえ「操法県大会」のあり方について質問する。



※内閣官房国民保護ポータルサイトより抜粋

答弁 県では、「データセンター」「半導体」など、戦略的な企業誘致に取り組んできた。昨年は工場等の立地件数、面積とも全国3位と好調に推移。他方、市町村では、より税収効果が高い製造業の誘致を望む傾向。物流倉庫施設を誘致補助金の対象とするかは、市町村にも意向を伺い検討する。

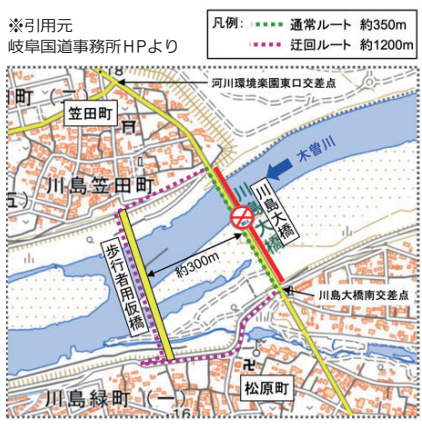
趣旨 消防団員は全国的に減少要因の一つが「操法大会」の負担が重いこと。昨今全国的に操法大会の廃止がニュースとなり、県内でも5市町で廃止となった。こうした現状を踏まえ「操法県大会」のあり方について質問する。
 (※消防団の役割や歴史については「未来タイムズ」にて記載)



操法県大会開会式の様子



操法県大会の放水の様子



5月27日に国土交通省から川島大橋に関して大きなプレスリリースが行われました!当初想定より前倒しでの歩行者用仮橋が完成見込みです。新しい橋の本復旧については、現在の位置にて架け替えられる見込みです。残るは新橋の完成までのスケジュールですが、こちらについては、目処が立つまでもう少し時間が掛かりそうです。しっかりとフォローして参ります。

NEWS!
 令和4年8月頃、歩行者用
仮橋の通行開始の見通し

川島大橋
 早期復旧への道
 VOL.7

平野祐也の岐阜 未来タイムズ

VOL.19



そもそも消防団って何?!
消防団の未来。



操法大会にて一番員として出場する平野祐也

5月・6月は消防団員やそのご家族にとっても大変なシーズンです。それは年に一度の「操法（そうほう）大会」に向けた訓練が連日開催されるからです。まず、皆さんの中でも「そもそも消防団って何？消防署と違うの？」という方もいらっしゃると思います。町内によっては消防団が無い為、当然の反応です。消防団の歴史は古く、最初に組織されたのは「江戸の町火消」です。普段は違う仕事をしている方が、町火消として活動し始めました。その後明治時代には「消防組」となり、戦後に今の「消防団」と位置付けられました。元々公的な団体ではなく、地域や自治会がベースとなっています。しかし、近年、阪神淡路大震災・東日本大震災を受けて、平成25年の「消

防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」により、市町村への設置が「義務化」されました。この法律には、「消防団は地域防災力の中核として欠くことの出来ない代替性のない存在」ということが明文化されました。尚、常備消防である「消防署」と「消防団」の役割分担や大災害時の実態は次の通りです。

役割分担 ・ 大規模災害時に消防署は発災から24時間は「消火活動優先」で「救護活動」に回れない為、地域の見回り活動は消防団が担う。
・ 火災時の放水、消火活動は勿論のこと、水利確保、交通誘導、残火処理等、「消防職員の出が足りない部分を消防団が担う」。

事実 ・ 阪神淡路大震災では、「生存者の8割を消防団が救助」。

・ 東日本大震災では、「消防署員の犠牲者が27人であったのと比較して消防団員は253人が犠牲となった」。

過去の大規模災害時に、消防士が消防署まで辿り着けないといった事例や、防災無線が機能しないという事例が頻発しました。そうした際に消防団員の避難誘導や救護活動によって多くの命を救出すると共に、尊い消防団員の命が犠牲になったという事実があります。そこで平成25年に消防団員の位置付けが国によって大きく見直されました。こうした法改正を経て、各務原市の消防団条例にも、「消防団員は「非常勤特別職の地方公務員」とされています。市から報酬を払うことで活動に一定の法的根拠を与えること、死傷事故に公的補償で対応する目的です。

そうした経緯を踏まえて現状を見てみると、消防団員は減少し続けており、本当に災害時に活動が出来るのか、地域防災機能の拠点になり得るかを考えないといけません。



操法大会に向けて練習する団員



岐阜県消防学校における水出し訓練

サラリーマン団員、共働き家庭も増えて「仕事」「家庭」との両立に葛藤を抱く消防団員も増えていきます。こうした「現実」をキチンと直視した上で、消防団活動を応援する政治行政でないといダメだと思えます。いまだに手書きの出動報告を消防団幹部が各班を回って回収して、市の消防本部に届けるような作業はIT化すべきです。操法大会の規律動作については、岐阜県としてもアンケート調査や国への意見を行った結果、今年から一部省略されました。また、岐阜県内でも「5市町」が操法大会を廃止し、実践的な災害対応訓練に移行することになりました。「操法大会をどうするか」で全ての消防団の課題が解決するとは思えません。各地域や団員の実情に合わせて、活動内容や訓練を見直していく必要があると考えています。まずは皆さんに消防団の大前提である歴史や役割を知って頂きたいと思っています。今後も地域で活躍し続ける消防団である為に、批判ではなく、より良くするためのご意見を頂ければと思います。

政治に無関心でも
政治と無関係では
いられない。



LINE公式アカウント



「こんな岐阜県がいいな」を聞かせてください。

携帯：080-9705-1004 住所：〒509-0136 松が丘2-177
TEL/FAX：058-372-2188 Mail：info@yuyahirano.com

平野祐也の

未来タイムズ

もっと詳しく
岐阜を語らせて
ください！



YouTube

各務原から
創ろう。
岐阜県の
未来を。

ぜひチャンネル登録も宜しくお願いします！

